

春を告げる弦楽四重奏

クアルテット・エクセルシオ◇北星学園大学チャペル



北星チャペルへの「春の音楽定期便」エクは、昨年2016年、ドイツの音楽祭に招かれて「繊細優美な金銀細工のよう」(フランクフルター・アルゲマイネ紙)と絶賛され、北星チャペルでのベートーヴェン初期弦楽四重奏曲全曲演奏会は『音楽の友』誌の「年間コンサートベストテン」特集に採り上げられました。

5/31(水)

昼12:10開演

北星学園大学チャペル

(東西線大谷地駅 徒歩5分)

入場無料(予約不要)

- ☆ モーツァルト (1756-1791) : 「アヴェ・ヴェルム・コルプス」 K.618
- ☆ モーツァルト (1756-1791) : 弦楽四重奏曲第15番二短調 K.421 より第1楽章
- ☆ アルヴォ・ペルト (1935-) : フラトレス ← **チャペルの響きとの調和に注目**
- ☆ シューベルト (1797-1828) : 弦楽四重奏曲第10番変ホ長調 D87作品125-1

ミュージックチャペル

祈りのチェロ

- サラバンドと「鳥の歌」 -

エクVc奏者で齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞の大友肇がお話とバツハ無伴奏Vc組曲等の演奏でチェロの魅力をお届けします。

5/30(火)

昼12:10~12:30

北星学園大学チャペル

ご自由にご参加ください。